

● 草の根パートナー型

2014年度第2回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	ルワンダ
2. 事業名	ルワンダ共和国東部州における小規模生産者グループの経済活動及びマネジメント向上支援プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	ルワンダは近年、目覚ましい経済成長を遂げているが、地方に住む多くの農民にとっては依然として貧困が深刻な課題であるため、彼らの農業生産性向上と販売や付加価値向上による所得の向上を通じて貧困削減に取り組む意義は依然として高い。 「ル」国政府は、Cooperativeを通じた農業生産・販売の拡大を支持・支援する方針を掲げている。事業地の生産者グループは組織運営や経済活動を改善する能力や知見が不足していることを認識しており、それに対するサポートの必要性を訴えている。しかし、草の根レベル（セクターやセルのレベル）ではそうしたグループに対する支援の制度・人員が十分に整備されているとは言えない。専門性を持った人材による能力開発の機会の提供が求められており、事業対象地域の生産者グループを、市場志向かつ適切に管理されたグループとするための能力強化のための体制作りが必要である。
4. プロジェクト目標	生産者グループが、市場志向かつ適切に運営されるグループとなっている。
5. 対象地域	ルワンダ共和国東部州ガツイボ郡キラムルジセクター カヨンザ郡ルカラセクター
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	キラムルジセクター及びルカラセクターにおいて活動している生産者グループ（CooperativeとAssociationの両者）が対象。各セクター40グループ程度、合計80グループを対象に支援を実施する。1グループあたりの平均メンバーは20名を想定しているため、直接的な裨益者数は合計1600人。
7. 期待されるアウトプット及び活動	<アウトプット> 1.MF/LMFによる生産者グループの能力向上を支援する体制が整備される。/2.生産者グループがそれぞれの成長目標について理解を深める。/3.MF/LMFを通じて、生産者グループのマーケティングとマネジメントの能力が向上する。 <活動> 1-1.MF養成のための研修モジュールの作成/1-2.MFおよびLMFの採用及び研修/1-3.MFおよびLMFへの継続研修/1-4.生産者グループによるMFのパフォーマンス評価/1-5.MF制度の行政への移行 2-1.ベースライン調査及びバリューチェーン分析/2-2.リーダーとなりうるモデル農家・グループの特定と教訓の洗い出し/2-3.生産者グループの段階的発展モデルのコミュニティにおける導入 3-1.生産者グループのマーケティング及び組織マネジメントスキルの向上/3-2.生産者グループの農業生産性の向上/3-3.生産者グループ間での経験のシェア/3-4.生産者グループと仲買人・小売業者のビジネスダイアログの企画・実施
8. 実施期間	2015年10月～2018年10月（3年）
9. 事業費概算額	53,897千円
10. 事業の実施体制	プロジェクトマネージャーは、ルワンダ地方政府である郡事務所、セクター事務所と連携をしつつ、プロジェクトの実施・進捗管理を行う。現地の事業スタッフとして、MF及びローカルマーケットファシリテーター（LMF）が生産者グループに対して経営や経済活動の支援を行い、財務経理を主管する専任のスタッフを採用する。 日本側では、財務経理担当と国内調整員が、四半期報告の作成支援・内容を確認するとともに、プロジェクトマネージャーの事業実施状況をモニタリングする。
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン
2. 活動内容	地域開発、緊急人道支援、分野別の特別事業、国内募金活動、東日本震災復興支援、国内啓発活動、アドボカシー活動。